

今谷焼

いま だん やき

6世紀頃から焼かれていたと伝わる須恵器。1990年、当時「きのこの森」（おおい町）建設中の山すそで須恵器の窯跡が発見されました。その場所は地元で今谷と呼ばれていたことから、今谷焼として復活しました。使用する土は、きのこの森周辺の赤土をブレンドしたもので、粘りの強さと鉄分の多さが特徴。鉄分の多さは、艶っぽい黒色に反映されます。「鯖街道が近く、京や奈良の都でも使われていたかとも思いを馳せています。歴史と伝統はありますが、復活後数十年の新しさを生かしてニーズに合うものを作っていきたいです」



歴史ロマンに思いを馳せつつ、
ニーズにも対応していく焼物。

ここがポイント

作り手の個性も味わいのひとつ。

今谷焼を製作するのは、きのこの森陶芸館の職員3名。食器や雑器、壺、植木鉢など3名それぞれの個性が生かされた製品が揃っています。オーダーも可能で、形やデザイン、数量、予算などは気軽に相談を。

製造者 / きのこの森陶芸館
住 所 / 福井県大飯郡おおい町鹿野42-27
T E L / 0770-78-1714
F A X / 0770-59-1710
<http://wakasa-ohi.co.jp/index.htm>

平成28年11月25日指定

